

議 事 録

会議名 2022 IKKO Japan 会議
 日 時 2022/10/8 14:00~15:30
 場 所 Web 会議
 出席者 大橋千秋、浅井（進行）、近田、山本、高見、西村、安藤（記録）
 (敬称略)

浅井本部長より挨拶があり議長に浅井隆夫を承認し議題開始。

1号議案：最大の教育改革「部活動の地域移行」

国で決定、R5 年より施行の改革について、拳法会としてどうするか？

◆目指す姿：社会体育の受け皿になる

◆実際の活動：

- ・中学校に拳法会を部活として認めてもらう為、所属中学生に書面を作成し中学校に提出（23年1月）
- ・学校の校長では権限がない地域もあり地域差もある為、中体連にロビー活動を行う。

⇒承認

2号議案：2023 年度世界拳法世界選手権

2023 年度世界拳法世界選手権に出る選手選抜方法、費用負担について議論

◆費用負担（未決）

負担場所：選手の所属部署が出すかどうか

負担額：全額補助／半額補助

⇒基準が無い為、これから決める。

また、寄付も募る

◆選抜基準

下記で判断

- ・大会成績 : 40P
- ・稽古姿勢 : 30P
- ・人間性（国際交流意識・品格） : 25P
- ・段位 : 5P

※小学校高学年までは補助したい

◆依頼

- ・各支部で対象メンバの選定
- ・各支部にて寄付のお願い
選手権大会で寄付をしてくれた会社を中心に検討。

⇒各支部長への
依頼事項

3号議案：コロナ及び少子化での会員減少

会員減少の原因を考察・議論

1、原因 支部責任者

①コミュニケーション能力：声かけ

少量でいいので声掛けを。座学やっているとところは会員増える。

②Web/Blog の活用能力・・・8割がネットから問い合わせ

SNS はブログへの連携までは良いが、SNS 自体からの問い合わせは少。

③意義ある稽古内容・・・会員のためになる稽古

見える向上内容が必要。

2、コロナ世代が抱える問題が原因 ①人との関わりができない ②大きな声を出すことができない 元々あった問題がコロナで加速。 拳法会が歯止め役になる必要がある 他支部の例) 消費カロリーの目標を立て、毎回の稽古後に測定指数値化。 それを基に会員とコミュニケーションをとるなど 第4号議案：その他 ・女子の大会のルール 女子の部で乱取りルールが男子に近くなっておりポイントがとられない。 その為、お互い激しくなり怪我につながる恐れがある。 国際大会の場合は国同士の関係もあるため、しっかり線引きしたい。 審判の認識が違う為、詳細を検討する時間を作りたい。 以上	⇒承認
備考)	
議事録署名人 安藤慎悟 3 段 	